



↑「シュタイコフレックス 038」の施工風景

「シュタイコフレックス 038」標準施工仕様

木繊維断熱材「シュタイコフレックス 038」は 100 ㎜厚×390、430 ㎜幅×1220 ㎜長を基本としており、そのままのサイズで大半の壁面に使用することが可能です。

弾力があって戻る力が強いので、隙間のサイズより 10 ㎜大きめにカットして、軽い力で押し込むことで完璧な断熱性を確保できます。

小さな隙間や空間には切断した端材を押し込むことで隙間なく断熱することができます。

長さや幅のカットは定規付き電動丸鋸を使って簡単に加工できます。クボデラ(株)では、施工で実際に必要とする幅や長さに合わせ、在庫保置場で実寸カットも承っております。

「シュタイコフレックス 038」の標準施工方法を紹介します

(作成：シュタイコ社、翻訳：イケダコーポレーション)



STEICO FLEX施
工説明20201113_

上記施工説明は内装用充填木繊維断熱材「シュタイコフレックス 038」の標準施工説明書です。PDF をダウンロードしてください。クボデラ(株)にて在庫販売しています。



「シュタイコフレックス 038」 ↑



STEICO施工説明P
rotect 20201109

上記施工説明は外断熱用木繊維断熱材「シュタイコプロテクト」の標準施工説明書です。
開口部の納まり等も説明しています。今後の取扱いを検討しています。



「シュタイコプロテクト」 ↑

このほか、補助外断熱、内装用断熱など様々な用途に使用することができる高比重の薄型タイプ「シュタイコユニバーサル」(22 ㎜、35 ㎜厚×600 ㎜幅×2000 ㎜長など) もあります。

また、吹付用木繊維断熱材「シュタイコゼル」もドイツなど欧州先進各国を中心に普及しているようです。断熱材を固めるための接着剤を必要としないので、とても安全性が高く

ドイツのエコテスト・マガジンでも最高の評価を得ている吹き込み断熱材です。取り扱いも簡単で、施工時間の節約にも繋がります。

クボデラ(株)では、「シュタイコゼル」について、輸入元のイケダコーポレーション様と共同で、吹付圧力差による施工性や断熱性能の違い、吹付された木繊維断熱材の沈下に関する時系列変化などを実験しています。

これらの新世代木繊維断熱材についても日本市場での在庫販売を目指していく所存です。



「シュタイコユニバーサル」 ↑



STEICO universal
の特徴



「シュタイコゼル」 左は梱包時の荷姿、右は吹付される木繊維 ↑



STEICO
zell標準施工仕様20:

「シュタイコフレックス 038」の加工及び施工動画を紹介します

「シュタイコフレックス 038」の施工の仕方及び加工についての動画を紹介します（約3分です）。この動画では「シュタイコフレックス 038」を電動丸鋸でサイズ加工している光景も見ることができます。（作成：輸入販売総代理店イケダコーポレーション）

<https://www.youtube.com/watch?v=0LAxtY7dojA>

「シュタイコフレックス 038」は汎用性の高い寸法ですので、押し込むことで簡単に施工できます。寸法加工を必要とする際は、定規付き電動丸鋸、断熱材カッターなどで切断していきます。弾力性があるので10mmほど大きめにカットしてください。厚さが100mmあるので、表と裏2回に分けて切断します。

壁面への施工は下から順に積み上げるように押し込んでいきます。天井に使用する場合は、タルキ間に、壁と同様の方法で押し込んでいけばしっかりと固定されます。床に使用する場合は根太の間に差し込み、上からフローリング等の床材を施工していきます。

小さな隙間や空間にはカットした端材等を押し込んでいきことで断熱性能を高められます。

